

お取引先とのビジネスにおいては、原材料や製品、サービスの安全性を重視します。加えて、お取引先と公正かつ自由な取引ができるよう、関係法令を遵守し、お互いの信頼関係を深めるような取引をしましょう。

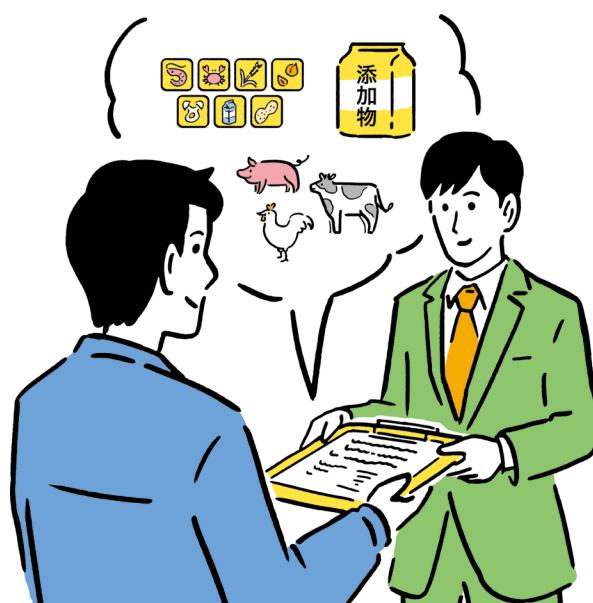
## 3

## お取引先に対する行動基準

## 1. 仕入原材料・資材、商品の安全性の確保

私たちは、責任を持ってお客様が消費する最終商品の安全性を確保する必要があります。仕入れを行う原材料・資材、商品のチェックおよび仕入先の品質管理、法令遵守の状況について、積極的に確認します。

- 仕入原材料・資材、商品の品質・安全性(たとえば、アレルギー物質の有無など)は、仕入先から証明書をもらって確認します。
- 原材料の賞味期限や添加物の内容は、仕入れを行うときに確認します。



仮に原材料のほんの一部にでも問題があれば、それはニッポンハムグループ各社が提供する商品そのものの問題となり、さらにはニッポンハムグループの経営姿勢の問題ともなります。従って、私たちは食品企業として高い責任感を持ち、仕入れを行う原材料・資材、商品の安全性の確保に努めます。

## 【用語解説】

お取引先：ニッポンハムグループが商品・サービスを購入する相手方のことをいいます。

## 2. お取引先との信頼関係の構築と連携

私たちは、お取引先の選定にあたっては、品質・サービス・価格・実績・信頼性などを総合的に判断します。また、調達活動においては、お取引先との信頼関係を構築し、共存・共栄を基本に、連携してCSR（企業の社会的責任）への取り組みを推進します。

- 原材料・資材などを仕入れる際は、お取引先が法令を遵守し、安全性・品質管理に問題が無いかを確認します。
- 「ニッポンハムグループCSR調達方針」に基づき、お取引先と連携してCSR調達を推進し、お互いの企業価値の向上に取り組みます。
- お取引先へのアンケートやコミュニケーションを通じて、法令・社会規範の遵守、商品やサービスの品質・安全性、人権の尊重、労働安全衛生、環境保全などに改善すべき点が見つかった際は、お取引先と連携して改善に取り組みます。



**社会的責任を果たし、事業を推進し続けるためには、私たちが関係法令を遵守することにとどまらず、お取引先と連携してサプライチェーンにおける問題を改善していくことが社会から求められています。**

### 【用語解説】

**CSR調達**:  
法令・社会規範の遵守、商品やサービスの品質・安全性、人権の尊重、労働安全衛生、環境保全など、企業におけるCSRへの取り組みを調達先の企業にも求めることです。

**サプライチェーン**:  
製品が消費者に届くまでの一連の流れを指します。

### 3. お取引先に対する優越的地位の濫用禁止(下請法の遵守)

私たちは、自己の立場を利用してお取引先に金品や接待を求める言動は、たとえ間接的な表現であっても行いません。下請業者との取引は常に公正に行います。

- お取引先に商品の紹介をする場合、あくまでも購入の判断はお取引先の自由意志であることを明確にして紹介します。ご購入いただいた際は、お取引先の購入実績をその後の取引に影響させません。
- 下請法を遵守し、お取引先の利益を不当に損なう行為(受領拒否、下請代金の支払遅延や減額、不当な返品など)はしません。
- 下請業務を依頼する際は、発注時に業務内容・金額・支払期日などを明記した書面を必ず交付し、保管します。
- また、担当者は日本ハム(株)・法務部が運用している下請取引管理DBへ申請を行います。



**【用語解説】**  
**優越的地位の濫用:** 取引上の地位が優越している当事者が、取引の相手方に対し、その地位を利用して、正常な商慣習に照らし不適当に不利益を与える行為です。

## 4. お取引先からの過剰な贈答・接待の禁止

私たちは、直接の利害関係がなくても、お取引先からの常識の範囲を超える贈答や接待などは受けません。

- お取引先からのお歳暮などの贈答やアルコールの入った食事などの接待は、公正な判断(価格交渉や複数仕入先などからの選定)に支障をきたすようであれば受けません。
- 個人宛で送られてきた場合は、誤解を受けることのないように上司に報告し適切に処理します。
- 第三者から見て明らかに不適切と判断される料亭、クラブ、スナックのはしごなど、節度を超えるような接待は受けません。
- お取引先からの接待を受ける場合は、二次会は極力辞退します。やむをえず参加する場合は、毎回連続して先方が負担することは避けます。



お取引先



「常識の範囲」とは、これを受けたとしても、仕事上の意思決定に何ら影響を及ぼさないという範囲です。ただし、許容範囲内かどうかは、それを第三者が見て適切かどうかによって判断します。なお、辞退したにもかかわらず、お取引先より贈り物(金品や商品など)が届けられた場合は、私的な取り扱いをせず、直属の上司に報告し、社会通念上適切かどうか判断のうえ、返却などの適切な措置をとります。

## 5. 公正な社内取引

私たちは、社内やグループ内の取引においても、公正・透明かつ健全な関係の維持・構築に努めます。

- 購入する立場を利用して、不当なビジネス、常識の範囲を超える様々な便宜供与の要請などは行いません。
- 社外との取引と同様に、品質や価格条件などは本来の判断基準で行い、個人の利益や感情で取引を決定しません。

社内やグループ内取引でも  
健全な関係の  
構築・維持に努めよう！



社内やグループ内の取引関係部署に過剰な販促協賛金、リベートや金品、接待を求めるることは、ニッポンハムグループ全体の利益を損ねることになります。より安全で高品質な商品をお客様に提供するという基本原則に立てば、社内取引またはグループ内取引であっても、取引判断の基準は品質・サービス、価格、実績、信頼性などです。

## CSR調達とは

Q 「CSR調達の推進」とは具体的にはどういったことを指すのですか。

A 調達活動において、お取引先と信頼関係を構築し、共存・共栄を基本に、連携してCSR(企業の社会的責任)への取り組みを進めいくことを指します。

ニッポンハムグループにおけるCSRの考え方を具体的に示すために、「ニッポンハムグループCSR調達方針」があります。

推進にあたり、CSR調達方針をお取引先にご理解いただくための説明を行うとともに、セルフチェックアンケートをはじめとするお取引先とのコミュニケーションを図ることで、サプライチェーンの透明性を高めていきます。



(行動基準3-2. お取引先との信頼関係の構築と連携)